



挑戦するからこそ、得られるものがここにある。

2016 冬期受験生特訓合宿

対象 中学受験生(小5・小6)・高校受験生(中2・中3)・大学受験生(中3～高卒)

TOMASの受験生特訓合宿

いよいよ入試直前期。「受験生」として全力の勝負を

「得点力」を強化する受験直前期

入試では、わずか「1点」の差が合否を分けます。その「1点」を積み重ね、競い合う中で、受験生として全力を尽くせるかどうか。それが勝負です。

そして、実力が均衡した勝負の中では、本番で自分の実力を発揮できるかどうか重要です。そこで、TOMASの受験生特訓合宿では、「できる問題を確実に得点する」ことにこだわります。

集中力を高く保ち、ミスをしないようにスピードと正解率にこだわった学習をするとともに、わずかな時間も有効に使って、知識固めや処理能力のアップに真剣に取り組むよう強く促していきます。

受験を直前に控えた受験生にとって、この合宿は「勝負強さ」を磨く絶好の場です。また、来年以降に受験を控えているみなさんには、「受験生」としての自覚を促し、自分の可能性を広げ、学習時間・学習効率をアップさせるチャンスです。ぜひTOMASの受験生特訓合宿にご参加ください。



合宿だからできること

「学習時間」に挑戦！

合宿では、緻密なスケジュールに従って、文字通り「寸暇を惜しんで」学習をします。小5・小6では11時間以上、中高生は12時間以上の勉強に挑戦します。各教科の学習方法はもちろん、1日の生活リズムや限られた時間の使い方を身につけられるのが合宿のメリットです。

これまでは長時間の学習に挑戦してもうまくいかなかった受験生も、合宿に参加することで「1日でこんなに勉強できる」という自信とスタミナをつけ、「自分の限界」を破ることができます。

合宿で「やれば意外とできる!」と気づき、合宿後も週50時間以上といった「学習時間」の目標を立てて挑戦するようになった受験生がたくさんいます。

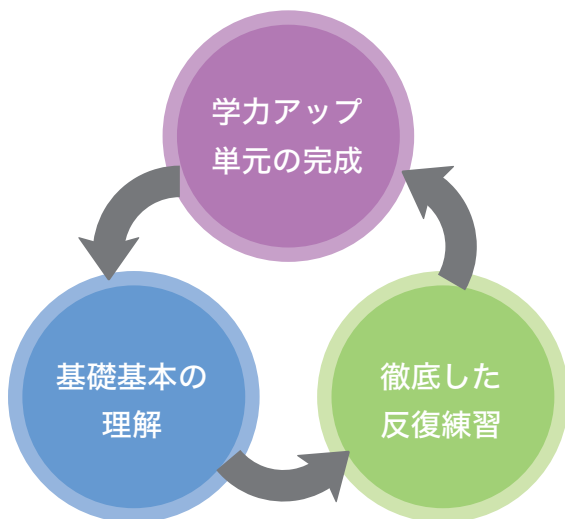
特に次受験生である小5生や中2生、高2生にとって、冬期合宿で「学習時間のアップ」に挑戦するメリットは非常に大きなものがあります。1日あたり30分増えただけでも、受験まで200時間以上も確保できるからです。これが、成績の差、受験の合否に直結します。従って、本当の意味で合宿の成果を出すためには、合宿最終日にも休むことなくそのまま教室に来校して自習をしたり、授業を受けたりすることをお勧めします。合宿で身につけた「長時間の学習習慣」をご家庭に帰ってからも続けるようにすることが大切ですので、お子様がお帰りになったときにはぜひご家庭でも「お疲れ様。今日もTOMASで頑張ろうね!」と声をかけて校舎に送り出していただければ幸いです。



「基礎固め」で学習の質を上げる

4泊5日という日程の中で最大の効果を発揮させるため、TOMASの合宿では「基礎固め」を重視しています。なぜなら、成績の良い生徒とそうでない生徒の差は、「難しい」ことができるかどうかよりも、むしろ「やさしい」ことを速く完璧にできるかどうかによって生じるからです。実際、難関校に合格するためのポイントは、「圧倒的」とも言える、誰にも負けないくらい「基礎固め」をすることにあります。

ところが、「やさしい」からこそ、「わかる」ことに満足して十分な演習をできていないケースがたくさんあります。その「基礎固め」ができていないから、「思ったように伸びない」という受験生が多いのです。



「基礎」を固めれば、学習の質が大きく向上します。「なんとなく」だった知識を確実なものとし、「ゆっくりやればできる」ことを「速く正確にできるようにする」だけで、同じ時間勉強したときの学習効果が大きく変わるからです。そして「基礎」は、短期間でも集中的に訓練すればはつきりとした成果が得られます。それが受験生にとって大きな自信になり、成功体験になるのです。

だからこそ、TOMASの受験生特訓合宿では、「基礎」を重視します。短期間に集中して学習をすることで、その成果が実感できるというのは、合宿ならではのことで、「やればできる」からこそ、できるようにするためにどれだけの反復学習が必要なのか。

それを体感し、自分の成長を実感できる仕掛けが、TOMASの合宿にはちりばめられています。



受験を肌で感じる

今回の合宿では、小5生は小6生と、中2生は中3生と、高1～2生は高3生や高卒生と同じ宿舎で勉強をします。次受験生である小5生、中2生、高2生にとって一学年上の受験を間近に控えた受験生の様子を見ることは、受験に対する緊張感を肌で感じられる貴重な機会です。「夢の第一志望校」合格のために、ぜひご参加ください。



小5 冬期受験生特訓合宿

早い時期から長時間の勉強と入試の臨場感を体験することで、志望校合格への「勝負強さ」を確固たるものとさせます！

ねらい

「夢の志望校」の合格には「学力」と「勝負強さ」が必要です。「学力」は質と量さえ確保すれば何とでもなるものですが、「勝負強さ」はそういうわけにはいきません。他人より多く努力したと思える経験を積み重ねない限り「勝負強さ」は身につけません。

入試本番まで、あと残り1年ほどとなる小5の冬は「本物の受験生」となれるかどうかの大切な時期です。近年の入試傾向として、合教科型の入試や適性検査を導入する学校が増えてきました。にもかかわらず、国語・算数に比べて、社会・理科の学習が軽視されたり、後回しにされたりという勉強法をとっている人も少なくないのではないのでしょうか。新6年生になる前に、この合宿を通して、5年生で最低限身につけておくべき知識を総復習させることがこの合宿のねらいです。

クラス編成

2科(社・理)の学力に応じたクラス分けを行います。12/3(土)までに「クラス分けテスト」をお通いの教室で受験してください。テスト日程については、教室の担当者より連絡させていただきます。

入試実戦体験

合宿4日目の午前中に行われる「入試実戦体験」は、朝の激励から合格発表まで本番さながらの雰囲気で行う、TOMAS合宿の名物企画です。模試では味わえない経験を通して、毎年多くの受験生が志望校合格を勝ち取っています。

タイムテーブル

6:00	起床
6:30	朝の運動
6:45	
7:00	朝食
7:45	
8:00	社会① (75分)
9:15	
9:20	社会② (75分)
10:35	
10:40	社会③ (70分)
11:50	
12:00	昼食
12:45	
12:55	理科① (75分)
14:10	
14:15	理科② (75分)
15:30	
15:35	理科③ (70分)
16:45	
16:55	社会④ (70分)
18:05	
18:15	夕食
19:00	
19:10	理科④ (70分)
20:20	
20:35	理社道場/入浴/記録ノート (90分)
22:05	
22:15	就寝準備
22:25	就寝

※初日・最終日は大きく異なります。最終日は閉校式などを行うため、授業はありません。

※上記タイムテーブルは予定です。運営上の都合により、予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。





カリキュラム

◎ 社会

社会では、各地方ごとに分け、日本地理の総まとめを行います。1月の公開模試の範囲でも、「地理総合」という形で指定されていることが多いです。この合宿で、日本地理を総復習しておくことで、模試の得点プラス10点を目指しましょう。

12/26	①	九州地方
	②	中国・四国地方
12/27	①	近畿地方
	②	九州・中国・四国・近畿地方のまとめ
	③	中部地方
	④	関東地方
12/28	①	中部・関東地方のまとめ
	②	東北地方
	③	北海道地方
	④	東北・北海道地方のまとめ
12/29	①	入試実戦体験の解説
	②	合宿のまとめ
	③	合宿のまとめ

◎ 理科

理科では、理科計算の基礎、グラフの読み取り、動植物のはたらきなど、5年生で知っておくべき基本事項の総まとめを行います。特に、理科計算やグラフの読み取りなど、曖昧になりがちな部分を、基礎からもう一度整理しながら扱います。

12/26	①	理科計算
	②	植物のはたらき①
12/27	①	川のはたらき
	②	地層
	③	グラフの読み取り
	④	生物のまとめ（食物連鎖）
12/28	①	ばね
	②	植物のはたらき②
	③	動植物のはたらき①
	④	動植物のはたらき②
12/29	①	入試実戦体験の解説
	②	合宿のまとめ
	③	合宿のまとめ

※上記カリキュラムは予定です。運営上の都合により、予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。



事前課題

◎ 社会

都道府県、県庁所在地、山地・山脈、平野、川などをまとめた基礎知識暗記プリントを事前に覚えてきてください。合宿中の授業内で、確認テストを行います。

※お申し込み頂いた方には、お通りの教室の担当者から事前に課題プリントをお渡しいたします。

◎ 理科

川のはたらき、地層、植物・生物の基礎知識暗記プリントに事前に取り組んできてください。合宿中の授業内で、確認テストを行います。



概要

教科 社会・理科

定員 約50名

小6 冬期受験生特訓合宿

集中的な基礎力チェックを通して得点力アップを図り、
志望校合格を確実に！

ねらい

入試直前期にすべきことは何かといえば、それは「基礎の再確認」です。

志望校の傾向分析と対策として、過去問は非常に有効なツールですが、まったく同じ問題は2度と出題されません。従って、総合的な「基礎力」のチェックをするには、過去問対策だけでは不十分です。実際、近年の入試では、テキストで見られるような基礎的な問題がよく出題されています。「冬期受験生特訓合宿」では、その総合的な「基礎力」のチェックを集中的に、徹底して学習します。テスト中心の実戦演習を通して、自分の現状を客観的に把握させて、入試本番までにやるべきことを明確にします。

例年、冬期合宿参加者からは「合宿でやった問題が入試で出た！」という言葉が毎年多く聞かれています。御三家・早慶などの難関校への合格者はもとより、普通に考えれば届かないレベルの学校への逆転合格も多数出ています。このように、冬期合宿における「基礎の再確認」は大きな効果を発揮しています。皆さんも先輩たちに続いて志望校合格を勝ち取りましょう！

クラス編成

授業は4教科（国算社理）または2教科（国算）の選択制です。お子様の現状に合わせて学力別のクラス分けをしますので、12/3(土)までに選択した教科のテストをお通りの教室で受験してください。テスト日程については、教室の担当者より連絡をさせていただきます。

タイムテーブル

	4科	2科
6:00	起床	
6:30	朝の運動	
6:45		
7:00	朝食	
7:45		
8:00	算数①（80分）	
9:20		
9:25	算数②（80分）	
10:45		
10:50	選択理科①（60分）	選択算数①（60分）
11:50		
12:00	昼食	
12:45		
12:55	国語①（80分）	
14:15		
14:20	国語②（80分）	
15:40		
15:45	選択社会①（60分）	選択国語①（60分）
16:45		
16:55	選択理科②（70分）	選択算数②（70分）
18:05		
18:15	夕食	
19:00		
19:10	選択社会②（70分）	選択国語②（70分）
20:20		
20:35	計算・漢字道場／入浴／記録ノート（90分）	
22:05		
22:15	就寝準備	
22:25	就寝	

※初日・最終日は大きく異なります。最終日は閉校式などを行うため、授業はありません。

※上記タイムテーブルは予定です。運営上の都合により、予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。



カリキュラム

各科目とも最終的な得点力アップに重点を置いた指導を行います。テスト形式での実戦演習を通して、徹底的に基礎力のチェックを行います。自分の課題を確認し、直前期の学習を効率的に進められるようにサポートします。

◎ 算数 (共通)

入試で出題される分野を網羅した模擬テストを行い、直後にテスト解説を行う形式で授業を進めます。テスト直後の解説によって、自分がどこで間違えたかを即座に認識できるとともに、テストを攻略するための方針などもその場で把握をさせることが目的です。直前期に再確認すべきポイントを明確化させ、入試本番前にやるべきことを絞り込ませます。合宿後にこのテストを総復習すれば、合格に必要な得点力を確実なものにできます。

◎ 選択算数 (2科コース)

選択算数では、近年に出題された入試問題の中から、一行問題をピックアップし、入試本番でも確実に得点をしたい基本問題をチェックしていきます。特に入試では絶対不可欠の特殊算を中心に演習をさせていきます。今まで受けてきた模試の結果を見て、正答率が高いにも関わらず、取りこぼしをしまっていることが多い場合は、このコースをご選択ください。

◎ 選択理科 (4科コース)

重要知識の最終チェックと総合問題形式のテスト演習を通して、どのように知識を生かして問題に取り組むのかポイントをおさえさせます。入試の主流となっている実験観察問題への対応力を高め、得点力につなげます。

◎ 国語 (共通)

入試でも頻出の物語文と説明文の問題を中心に構成した模擬テストの演習を通じて、読解の「型」・記述解答作成の「型」・選択肢の取捨選択方法の確認と徹底を行い、得点力の安定及び向上を図ります。

また、テスト演習を通して、時間感覚を養わせていきます。試験時間を最大限有効利用するために、設問ごとに目安の時間を振り分け、戦略的問題演習を行います。

◎ 選択国語 (2科コース)

選択国語では、首都圏の有名中・難関中の問題分析を基にして、出題頻度の高い問題を中心に構成したオリジナルテキストを使用し、基礎知識がどの程度定着しているかの最終確認を行います。この演習を通して、得点力の底上げを行い、知識問題で90%以上の正解率を目指し、配点の3割を確実に得点できる力を養います。

◎ 選択社会 (4科コース)

重要語句の最終チェックと入試直前の得点力アップのポイントである「時事問題」に関連する地理、歴史、公民を網羅的に扱い、基本的知識の最終チェックを行います。このチェックテストで効率よく確認し、得点力の向上を図ります。



事前課題

「中学受験 漢字合格マスター <漢字の完成>」に掲載されている漢字を覚えてきてください。夜の漢字道場でのテスト範囲となります。

※お持ちでない方は、お通いの教室の担当者よりお渡しいたしますので、お伝えください。



概要

- 教科** ① 4科コース 国語・算数・社会・理科
② 2科コース 国語・算数
- 定員** 約 120 名

中2 冬期受験生特訓合宿

受験生として、「自分」を変える。成績が伸びる「自分」になる。

ねらい

まもなく、名実ともに受験生となる中学2年生。受験生として、どこまで日々の学習時間を増やせるか、基礎となる処理能力を鍛えられるかがポイントです。

だからこそ、まず「学習時間」の壁を破ることが欠かせません。受験生として成績を上げたいなら、少なくとも週に40時間以上、基本的には週に50時間以上の学習が必要です。1日12時間の学習に挑戦する受験生特訓合宿は、その学習リズムをつくるための絶好のチャンスです。

また、「勉強しているのに伸び悩む」という場合、その要因の多くは、「基礎力不足」にあります。「基礎」の訓練不足が、伸び悩みの原因になるのです。


そこで、この合宿では計算・英単語などの「基礎」を重視します。一つのことを徹底して反復演習することがどれほど大きな成果を生むか、本当の意味で「基礎固め」をすることがどれほど大切なのかを体感させることで、合宿後の学習効率の大幅アップを図ります。

クラス編成



数学・英語の2教科のそれぞれについて、難関高校受験生向けの先取り学習をするクラスや基礎を徹底して復習するクラスに分けて授業を行います。

それぞれの教科の学力と志望校に応じてクラス分けをしますので、「クラス分けテスト」を12/3(土)までにお通りの教室で受験してください。テスト日程については、教室の担当者より連絡させていただきます。

● クラス構成

ハイレベル  基礎重視	難関校対策クラス 基礎の徹底演習クラス
--	------------------------

タイムテーブル

6:00	起床	午前の数学は「超基礎計算」と「確認テスト」からはじまります。 どのクラスでも、真剣な授業が繰り広げられます。	
6:30	朝の運動		
7:00	朝食		
8:00	数学		
9:50 10:00	数学		
11:50	12:00	昼食	午後の英語は「文法テスト」と「確認テスト」からはじまります。 クラスのレベルに応じた授業で、解説と反復演習を行います。
13:00	英語		
14:50 15:00	英語		
16:50	17:00	基礎演習	2日目にもなると、ほとんどの生徒が、食事の合間などわずかな時間を利用して計算や英単語などの演習をするようになります。 夕食タイムの終わりには、確認テストで高得点をとった生徒が、「満点賞」として表彰されます。
18:10 18:20	夕食		
19:15	20:20	数学	起床から就寝まで「すき間時間」も活用しながら、文字通り「勉強だけ」の充実した1日を過ごします。 一切の誘惑がない、合宿という環境だからこそ、集中した一日を送ることができます。
20:30	英単語演習など		
21:55	22:00	基礎演習 入浴・復習	
23:40	就寝準備		
24:00	消灯・就寝		

※初日・最終日は大きく異なります。最終日は閉校式などを行うため、授業はありません。

※運営上の都合により、予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。



基礎演習

● 数学

超基礎計算

2桁の四則計算のスピードと正確さを鍛えます。単純計算ですが、この得点アップが数学の学習効率アップに直結します。わずか4泊5日の合宿でも、約1.5倍(平均値)のスピードアップ効果があります。

数学検定

小5～中2レベルの計算力を鍛える昇級式のテストです。テストの範囲は級によって異なり、整数・分数・小数の四則計算から連立方程式までさまざまです。

● 英語

英単語実力テスト

日→英、英→日の単語テストを繰り返し実施し、単語力の大幅アップを図ります。テストは中2レベル、中3レベル、難関高校レベルの3ランクがあり、合格点をクリアすると上位に進みます。

英文法単元別テスト

中1～中2レベルの文法力を単元別にチェックするテストです。be動詞・一般動詞・助動詞・不定詞・比較・受動態など、単元別のテストを実施します。



カリキュラム

※各クラスの状況によって一部カリキュラムを変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

● 数学

難関高校対策クラス

難関高校のハイレベルな問題を解くために必要な知識・公式・解法パターンについて解説します。

また、最難関レベルでは一つひとつの問題を解くのにどれぐらいの処理能力が要求されるのかを体感させ、「基礎」固めを図ります。

基礎の徹底復習クラス

中1・中2範囲の教科書レベルの内容を中心に、基本から解説をしていきます。特に、正負の数・文字式・1次方程式・連立方程式などの計算については、その習熟度が中3になってからの伸びを大きく左右するため、特に重点的に鍛えていきます。

12/26	式の計算
12/27	1次方程式・連立方程式
12/28	平面図形
12/29	

● 英語

難関高校対策クラス

中1・中2範囲の文法事項を復習したうえで、主語や動詞といった文の要素・構造など、難関高校で求められる文法・知識についても学びます。また、空所補充・整序英作文・自由英作文など、さまざまな問題形式に対応できるようアウトプットスピードを鍛えます。

基礎の徹底復習クラス

中1・中2範囲の基礎的な文法事項について復習しながらていねいに解説し、演習します。特に、be動詞と一般動詞の違い、不規則動詞の活用など、英語を苦手とする受験生がつまづきやすいポイントについては重点的に扱います。

12/26	時制
12/27	助動詞・比較
12/28	不定詞・動名詞
12/29	

概要

教科 数学・英語

定員 約40名

中3 冬期受験生特訓合宿

「凡事徹底」～誰にでもできることを、誰にも負けないレベルに鍛える～

ねらい

受験の直前期。だからこそ、この合宿では、「凡事徹底」にこだわって、正確な知識とスピードを身につけさせ、得点力のアップにこだわっています。

なぜ、得点が伸びないのか。なぜ、ミスをしてしまうのか。その大きな要因のひとつは、「『あたりまえ』のことを『あたりまえ』にできない」ということ、「どれだけやれば、『あたりまえ』になるのか」ということを体で覚えていないことにあります。志望校のレベルによって「何があたりまえか」は異なりますが、その感覚のずれが、伸び悩みの原因なのです。

だからこそ、誰にでもできることを、誰にも負けないレベルに鍛えるだけで、受験生は劇的に変化します。この合宿でその成功体験をつかむことが、入試直前期の受験生にとって何よりも自信になります。



クラス編成

数学・英語のそれぞれについて、一人ひとりの学力・志望校に応じたクラス分けを行います。12/3(土)までに「クラス分けテスト」をお通りの教室で受験してください。テスト日程については、教室の担当者より連絡させていただきます。なお、上位者は難関国私立高校レベルの知識を学ぶ「国私立対策クラス」と、公立高校入試レベルの問題で高得点を狙う「公立対策クラス」に分けて授業を行いますので、お申し込みの際にクラス分けのご希望をお知らせください。

● クラス構成

ハイレベル ↑ 基礎重視	国私立対策クラス	公立対策クラス
	基礎の徹底演習クラス	

タイムテーブル

6:00	起床	午前の数学は「超基礎計算」と「確認テスト」からはじまります。授業の内容・レベルはクラスによって異なります。
6:30	朝の運動	
7:00	朝食	
8:00	数学	
9:50 10:00		
11:50	英語	午後の英語は「文法テスト」と「確認テスト」からはじまります。ここで少しでも良い点をとろうと、みんな寸暇を惜しんで勉強をしています。
12:00		
13:00	英語	
14:50 15:00		
16:50	基礎演習	食事の合間にも、先生をつかまえて質問攻めする生徒がたくさんいます。先生はもちろん、生徒も真剣です。夕食タイムの終わりには、確認テストで高得点をとった生徒が、「満点賞」として表彰されます。
17:00		
18:10	夕食	わずか4泊5日の合宿でも、受験生は大きく成長します。合宿に参加したことをきっかけとして受験勉強に真剣に打ち込むようになっただけでなく、高校入学後もその学習習慣を維持している先輩がたくさんいます。
18:20		
19:15	数学	
20:20		
20:30	英単語演習など	
21:55		
22:00	基礎演習 入浴・復習	
23:40	就寝準備	
24:00	消灯・就寝	

※初日・最終日は大きく異なります。最終日は閉校式などを行うため、授業はありません。

※運営上の都合により、予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。



基礎演習

● 数学

超基礎計算

2桁の四則計算のスピードと正確さを鍛えます。わずか4泊5日の合宿でも、約1.5倍(平均値)のスピードアップ効果があります。

数学検定

小5～中3レベルの計算力を鍛える昇級式のテストです。テストの範囲は級によって異なり、整数・分数・小数の四則計算から二次方程式までさまざまです。



カリキュラム

● 数学

国私立対策クラス

難関高校の入試問題を手際よく解くための技と知識を解説した上で、難関校の入試問題演習を行います。

12/26	平面図形・立体図形の各種公式
12/27	
12/28	ハイレベル問題演習
12/29	

公立対策クラス

入試本番で満点をとることを目標に、公立高校入試問題レベルの問題演習を行います。

12/26	公立高校 入試問題特選
12/27	
12/28	
12/29	

基礎の徹底復習クラス

失点しやすい分野、受験生の多くが苦手とする単元・問題パターンについて、演習・解説を行います。

12/26	さまざまな計算問題
12/27	
12/28	1次関数と2次関数
12/29	平面図形・立体図形

● 英語

英単語実力テスト

日→英、英→日の単語テストを実施します。テストは中2レベル、中3レベル、難関高校レベルの3ランクがあり、合格点をクリアすると上位に進みます。

英文法単元別テスト

高校入試レベルの文法力を単元別にチェックするテストです。動詞・助動詞・不定詞・比較・受動態・現在完了・文型などの弱点分析をすることができます。

※各クラスの状態によって一部カリキュラムを変更する場合があります。

● 英語

国私立対策クラス

中学範囲を超える文法事項まで確認・解説したうえで、難関校の入試問題演習を行います。

12/26	分野別 問題演習
12/27	
12/28	ハイレベル問題演習
12/29	

公立対策クラス

入試本番で満点をとるために必要な知識を確認しつつ、公立高校の入試問題演習を行います。

12/26	公立高校 入試問題特選
12/27	
12/28	
12/29	

基礎の徹底復習クラス

苦手となりやすい文法事項を解説し、例文暗記によって知識の定着を図ります。

12/26	時制
12/27	受動態・比較・不定詞
12/28	動名詞・分詞・関係代名詞
12/29	総合演習

概要

教科 英語・数学

定員 約80名

大学受験 冬期特訓合宿

自分の「限界」に向き合い、挑戦する。そして、自分を変える。

ねらい

● センター対策コース

センター試験にまだ自信が持てない受験生、難関大学を目指してセンター試験対策をしている高1・高2生の参加にお勧めのコースです。

センター試験は平均点が60%程度ですが、国公立大学の受験や、私立大学のセンター利用入試を活用するためには、少なくとも80%、なるべく85%以上の得点率が欲しいところです。高2であっても、最難関大を目指すなら、少なくとも英数国の3教科は満点を狙いましょう。

得点率が80%に届かない原因の多くは、そもそも必要な知識が身につけていないか、または解答に時間がかかりすぎているかのどちらかです。

そこで、「センター対策コース」では、英語と、古文または数学について、確実に80%以上の得点をとるために必要な知識を整理するとともに、解答処理スピードアップのための実戦訓練を行います。

科目選択とクラス

受講科目は英語・古文の2科目、または英語・数学の2科目です。なお、12/3(土)までにお通りの教室で「クラス分けテスト」を受験してください。テスト日程については、教室の担当者より連絡させていただきます。

● 受講パターン

受講パターン	英語・古文	英語・数学
必修科目	英語	
選択科目	古文	数学

● 英語集中特訓コース

「英語集中特訓コース」では、大学受験の核となる英語に特化し、さらにその中でも文法力・語彙力の2つに焦点を絞って徹底的に知識の強化を図ります。

短期間でも集中して勉強すれば、どれだけ多くのことを学べるのか。「本気で勉強する」とはどういうことなのか。そして、どれだけ自分を変え、成長させることができるのか。それを体感しましょう。実際、この合宿に参加した生徒の多くが、わずか4泊5日の合宿中に数百語の単語を身につけています。

多くの場合、成績が伸び悩む原因は、「学習量の不足」「知識のあいまいさ」にあります。これは、「才能」の差というよりも、「習慣」の差によるものが大きいのです。だからこそ、その「習慣」を変えれば、その後の成績も変わります。

この合宿で「学習量」の壁を克服し、1つの知識を確実に身につけるためにどれだけの反復が必要なのかを体得すれば、そのプロセスは英語以外の数学・国語・理科・社会などにも応用できます。そのための第一歩が、この英語集中特訓合宿です。

クラス編成

文法・語彙ともに、高校英語の初歩レベルから大学受験レベルまで学力別のクラス分けをして授業を行いますので、12/3(土)までにお通りの教室で「クラス分けテスト」を受験してください。テスト日程については、教室の担当者より連絡させていただきます。

タイムテーブル

	センター対策コース	英語集中特訓コース
6:00	起床	
6:30	朝の運動	
7:00	朝食	
8:00	英語	文法演習①
9:50		
10:00	英語	文法演習①
11:50		
12:00	昼食	
13:00	古文	基礎計算 数学 文法演習②
14:50		
15:00	古文	数学 文法演習②
16:50		
17:00	自習	
18:10		
18:20	夕食	
19:20	英語	単語演習①
20:50		
21:00	古文	基礎計算 数学 単語演習②
22:30		
22:35	入浴・復習	
23:40	就寝準備	
24:00	消灯・就寝	

※初日・最終日は大きく異なります。最終日は閉校式などを行うため、授業はありません。

※運営上の都合により、予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。



カリキュラム

※各クラスの状況によって一部カリキュラムを変更する場合があります。

● センター対策コース

センター試験の実戦問題演習を中心としつつ、受験生がつまづきやすいポイントについて演習と解説を行います。それによって、センター試験で高得点をとるために必要な知識の正確さと処理速度の向上を図ります。

英語

12/26	ガイダンス	熟語演習
12/27		
12/28	センター実戦演習	
12/29		

数学

12/26	ガイダンス/基礎力チェック	重要単元演習
12/27		
12/28	センター実戦演習	
12/29		

※数学IA II Bの内容を一通り学習していることを前提としています。高3・卒生以外の方は、合宿までに全単元の学習をしたうえでご参加ください。

国語

12/26	ガイダンス/古文文法 基礎力チェック	
12/27		
12/28	センター実戦演習	
12/29		

● 英語集中特訓コース

文法

12/26	ガイダンス
12/27	時制・仮定法・助動詞
12/28	不定詞・動名詞
12/29	分詞・関係詞

単語

大学受験の基礎・標準レベルの単語について、音読を取り入れながら、効果的な語彙力アップを図ります。

概要

- コース**
- ① センター対策コース〈英語・古文〉
 - ② センター対策コース〈英語・数学〉
 - ③ 英語集中コース

- 定員**
- センター対策コース 約 40 名
英語集中コース 約 40 名



合宿 Q&A

Q どんなところで合宿をするのですか？

- A. 富士五湖周辺の宿泊施設を利用し、勉強だけに集中できる絶好の学習環境をご用意します。
冬期特訓合宿では、学年によって3つの宿泊施設に分かれて合宿を行う予定です。



Q 集団指導の勉強についていけるか心配です。

- A. あらかじめ実施する「クラス分けテスト」によって習熟度別のクラスを編成し、それぞれのレベルにあった授業をしますので、学力面で問題になることはほとんどありません。
ただし、集団生活が極端に苦手、個別指導のほうが向いているお子様もいらっしゃるかと思います。ご心配なことがあれば、お通いの教室の担当者にご相談ください。

Q 荷物を宅配便で送ってもいいですか？

- A. 大きい荷物を直接お持ちいただくこともできますが、宅配便をご利用いただいた方が便利です。着荷日を合宿前日の12/25に指定し、TOMASの合宿参加者であることを伝票に明記し、発払便でお送りください。一方、復路で宅配便をご利用になる場合は、必ず着払便をご利用いただいております。
なお、宅配便をご利用になる場合は、往復宅配便をご利用いただくとう便利です。

Q 1クラスの人数は何人くらいですか？

- A. 学年・コース・参加者数・教室の大きさにもよるので一概には言えませんが、1クラスの人数は原則として20人程度です。

Q 客室はどういう部屋ですか？

- A. 客室には和室・和洋室・洋室などさまざまな部屋があり、部屋の大きさもさまざまです。合宿では客室を男子エリア・女子エリアに分け、参加者はそれぞれ指定された部屋に宿泊していただきます。部屋のタイプ・部屋からの眺望等をお選びいただくことはできませんのであらかじめご了承ください。また、1部屋あたりの人数は部屋の定員に応じて異なります。

Q 食事はどのようなものが出されるのですか？

- A. 栄養バランスを考慮した食事をホテルのスタッフに用意していただきます。アレルギーのある生徒には代替食をご用意しますのでご安心ください。また、授業の合間にはお茶や水を自由に飲めるようにして、水分補給をさせています。



アレルギーの対応例。ここでは小麦アレルギーのある生徒のために、パスタ(左)をポテト(右)に変更しています。

Q 服装について注意することはありますか？

- A. 特に服装の制限はありません。ホテル内では空調が完備されていますので、日頃から着用されている衣服のままで結構です。ただし、窓や空調設備との位置関係によっては、暑く感じたり寒く感じたりすることもあります。調整しやすいよう、着脱のしやすい服装をお勧めします。

Q 携帯電話や貴重品の扱いはどうなりますか？

- A. 勉強に専念させるため、合宿中は携帯電話の使用を禁止しています。合宿中、持参された携帯電話は貴重品と一緒に最終日までホテルのフロントでお預かりします。

Q 体調を崩さないか心配なのですが・・・

- A. 合宿では起床から就寝まで、規則正しく生活しますので、むしろ健康的な生活といえます。また、起床後と就寝前には必ず検温をしています。看護師が引率者として参加しておりますので、万一体調を崩してしまった場合でも、速やかに適切な対応をいたします。安心してご参加ください。

Q 薬を服用しているので心配なのですが・・・

- A. 食後や就寝前には薬の服用時間を設けるとともに、服用忘れがないよう、引率者が呼びかけ・確認を行います。ただし、「自分のことは自分でする」という躰の面から、個別の対応は原則として行っておりません。お子様ご自身で服薬などができるようになったうえで合宿にご参加ください。

予告

2017 春期 受験生特訓合宿

合宿は自分を変えるためのチャンス。新学年のスタートダッシュを！

学年が上がり、多くの受験生が「夢の志望校」への合格の決意を新たにする春休み。

ここで誰よりも真剣に、誰よりも決意して勉強できれば、春から夏にかけての受験勉強の効率が、大きく変わります。

日程 2017年 3/27(月)～3/31(金)

対象学年 <新小5・新小6>

<新中3>

<新高1～高3>

開催地 千葉県

ここに掲載している春期受験生特訓合宿の日程・教科・授業内容等の内容は、予告なく変更される場合があります。詳細については、改めて発行される春期受験生特訓合宿のパンフレットを必ずご確認ください。